

AIビジネス編) 極力専門用語を使わずに解説する、 プライム・ストラテジー投資家の 皆様向け説明会



プライム・ストラテジー株式会社

証券コード：5250

代表取締役 吉政忠志



1. 会社紹介

会社紹介

2. 当社のビジネス

代表プロフィール

3. 当社の競争力

4. 当社のAIビジネス

5. ビジネスハイライト

社名

プライム・ストラテジー株式会社
英文社名：PRIME STRATEGY CO., LTD.

設立年月日

2002年12月2日

インターネット系の
会社としては老舗です

所在地

〒102-0082
東京都千代田区一番町 8 番地 住友不動産一番町ビル 1 階

代表取締役

代表取締役 吉政忠志

従業員数（連結）

24名(2024年11月末)

スタンダード市場上場企
業としてはかなりコンパ
クトな社員数です

資本金

444,847千円（2024年11月末）

AIや自動化で業務が効率化
されている会社です

事業領域

KUSANAGI Stackの開発と提供

- ・ 超高速CMS実行環境「KUSANAGI」
- ・ 高速化エンジン「WEXAL® Page Speed Technology®」
- ・ 戦略AI「ONIMARU® David」

KUSANAGI Stack事業

- ・ KUSANAGIマネージドサービス
- ・ クラウドインテグレーションサービス
- ・ ライセンス販売

KUSANAGIはWebサーバー
を超高速化しセキュリティ
を高めるOSです。

連結子会社

PRIME STRATEGY NEW YORK, INC.
（米国ニューヨーク州）

資本業務提携先



株式会社イントラスト



吉政 忠志 代表取締役
マーケティング部管掌

1992年 インテック入社
2010年 吉政創成株式会社 代表取締役就任
2011年 PHP技術者認定機構 理事長就任
2016年 一般社団法人Pythonエンジニア育成推進協会
代表理事就任
2018年 一般社団法人日本ネットワーク技術者協会
代表理事就任
2024年 プライム・ストラテジー株式会社 代表取締役就任

オープンソースビジネスの事業推進、
V字回復のプロフェッショナルです



中山 勝美 取締役
経営管理部管掌

1986年 有限会社家庭教師センター学習館入社
1987年 東京アカウンティング学院株式会社
(現TAC株式会社) 入社
2012年 学校法人大阪歯科大学入職
2017年 当社入社 執行役員管理部長
2023年 当社取締役就任

ビジネスがわかる
管理部門の統括者です



池宮 紀昭 取締役
クラウドインテグレーション事業部管掌

2008年 株式会社コナミデジタルエンタテインメント入社
2016年 AppMedia株式会社入社
2018年 当社入社
2020年 当社クラウドインテグレーション事業部 部長就任
2020年 当社取締役就任

ビジネスがわかる技術者であり、
パワフルな事業統括者です

社外取締役

小舘 亮之
大崎 理乃
添田 繁永 (監査等委員)
鈴木 隆之 (監査等委員)
森田 芳玄 (監査等委員)

代表取締役 吉政忠志 プロフィール

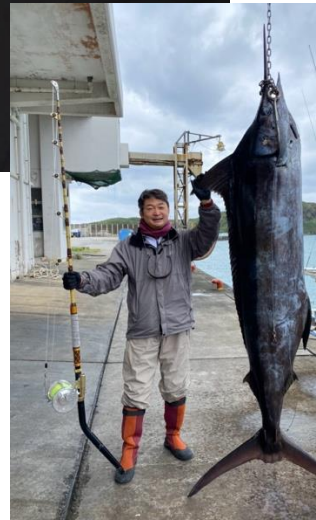
プライム・ストラテジー株式会社
代表取締役 吉政忠志

Python試験やPHP試験、ウェブセキュリティ試験、Rails試験、IPv6検定などを運営する業界3団体の代表を兼務

過去には、Linuxコンソーシアム副会長（7期）、IPA専門委員（2期）、文部科学省XML教育推進委員（2期）、ノベル、SAP、インフォテリア（現アステリア）、ターボリナックスなどでマーケティング・営業部門の責任者を歴任

趣味：釣り、ロードバイク

「吉政忠志」で検索すると凡そ活動状況が見えます。



- 国内ウェブセキュリティ第一人者 徳丸浩氏がウェブセキュリティ顧問に就任されました。（2024年12月1日発表）

- **徳丸 浩氏のコメント**

「この度、プライム・ストラテジーのウェブセキュリティ顧問として迎えていただいたこと、深く感謝しております。近年、サイバーセキュリティに関するニュースが多くなり、社会の関心度が高くなっております。プライム・ストラテジーのビジネスに助言し、また、マーケティング活動の支援をウェブセキュリティ面で行うことで、プライム・ストラテジーのセキュリティソリューションをより多くの方に訴求できるようになると考えております。」



1. 会社紹介

2. 当社のビジネス

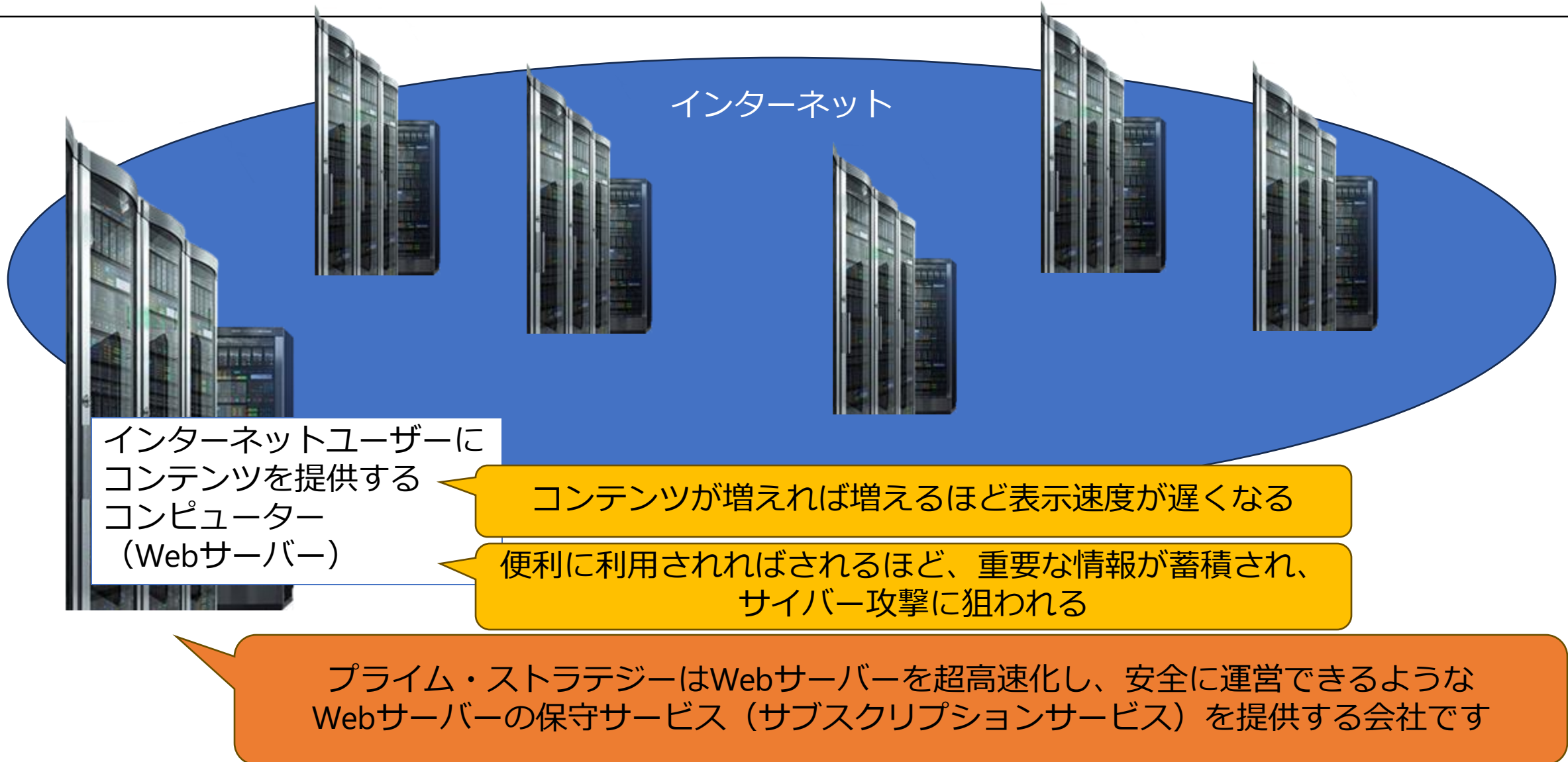
3. 当社の競争力

4. 当社のAIビジネス

5. ビジネスハイライト

当社のターゲット市場

当社のビジネスとは



インターネット

インターネットユーザーに
コンテンツを提供する
コンピューター
(Webサーバー)

昔はコンテンツをプログラミングで作成し、表示していました

コンテンツを効率的に作成したり更新できるように
コンテンツを管理するソフトウェアのニーズが増えました

そこで登場した、プログラミングをしなくてもコンテンツを作れて更新できる
ソフトウェアが「CMS (Contents Management System)」です

今では、全世界のWebサーバーの**62.0%**でCMSが稼働

WordPressは全体の**43.6%**稼働*

CMSもWordPressも当社のターゲットであり、
WordPressは当社が特に強い分野です。

- Webサーバーには大きく分けると2種類あります。
 - レンタルサーバー/ホスティングサーバー
 - 手軽にWebサーバーを使いたい方向けのサービスです。
 - コンテンツ以外は既にセットアップされています。

既製品のようなWebサーバーサービスです。プライム・ストラテジーが技術・ライセンス提供、有償ライセンスを提供しています。

- 個別に設定されたWebサーバー
 - 企業で採用されることが多いです。
 - 要望に応じた機能や性能を実現できます。

プライム・ストラテジーが保守サービスを提供する対象となるWebサーバーです。

- 当社は以下の国内有数の技術と実績を持っています。
 - WordPressの技術全般（WordPress.comの運営会社であるAutomattic社が選出するWordPressコンサルティング会社 世界トップ16にリストアップされていました）※現在はそのリストは公開されていません。
 - WordPressやCMSのOSに関する技術全般
 - WordPressやCMSの保守技術・障害対応技術
 - WordPressやCMSの保守事例（現在200サイト公開中）

現在、約200サイトのお客様事例を公開しています

[illegible]

- 当社の国内有数の技術と実績を活かして、以下のビジネスを展開しています。
 - レンタルサーバー/ホスティングサーバー向けにライセンス/技術提供
 - 個別に設定されたWebサーバー向けに保守サービスを提供しています。

当社のビジネス

「KUSANAGI」などコアとなる基礎技術・プロダクトの開発
AI・自動化などのテクノロジーを最大限活用した各種サービスの展開

ストック型ビジネスを中心に展開

ライセンス・技術提供です

ストック型ビジネス

保守サービスです

ライセンス

売上
比率 **15%**

有償版ライセンス

KUSANAGIのクラウド事業者を通じた世界販売



知的財産

ブランド/知的財産のライセンス提供



KUSANAGIブランド

国内特許取得済み
米国特許申請・審査中
知的財産

KUSANAGIマネージドサービス

売上
比率 **70%**

KUSANAGI+KUSANAGIの開発元
としてのマネージドサービスの**付加価値**

単一のWebシステム保守運用サービス

顧客の単一のCMS等Webシステムの保守運用サービス

CMSプラットフォーム統合サービス

顧客の複数のCMS等Webシステムの統合管理サービス

KUSANAGIへの移行
サービスです。

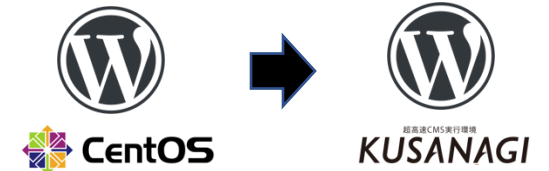
フロー型ビジネス

クラウドインテグレーションサービス

売上
比率 **15%**

初期導入時のサービス

KUSANAGIマネージドサービス導入時のシステム移行



保守運用後のサービス

保守運用開始後の顧客Webシステムの追加開発

世界で利用されるKUSANAGI

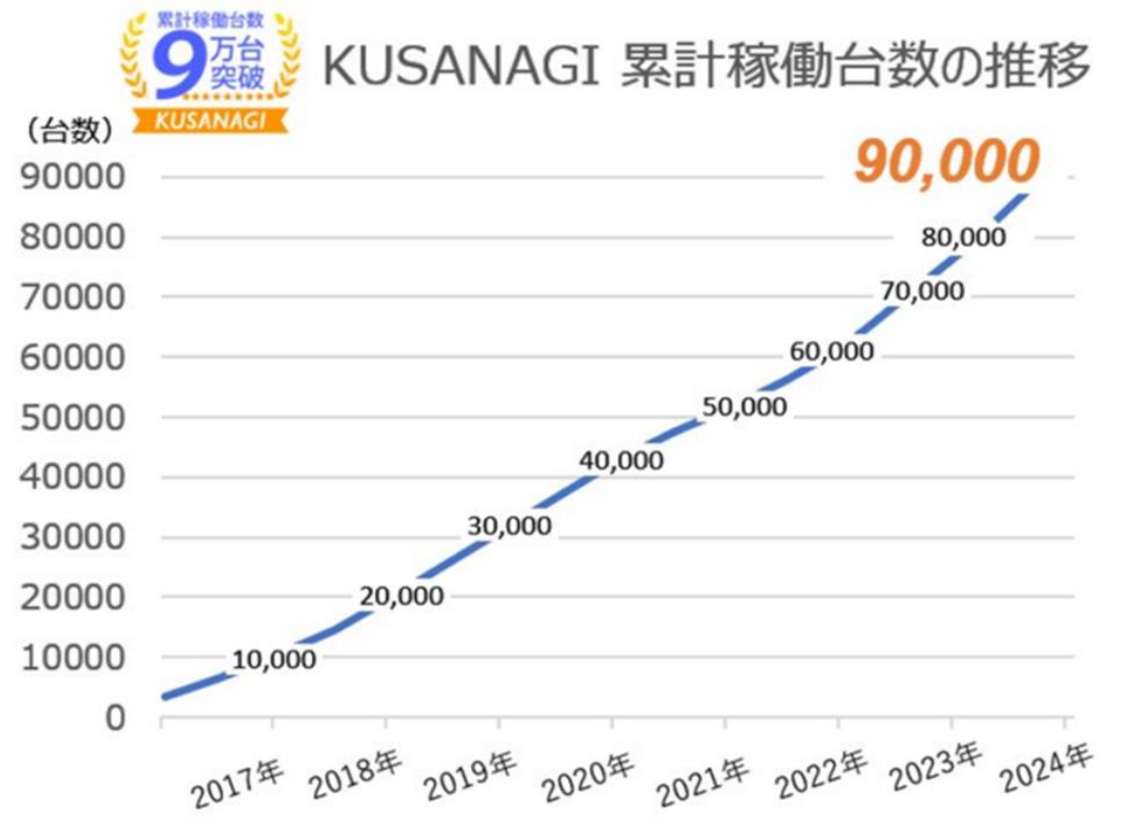
グローバルなCMS高速化ソリューションのデファクトスタンダードとして成長

(2024年7月現在)

国内外の主要な28プラットフォーム
37カ国203リージョンで利用可能 (2024年9月現在)



知的財産のライセンス提供



WordPressがサイバー攻撃のターゲットになりセキュリティへの関心度向上

従業員1000人以上の企業

4,042社^{*4}

従業員300人以上1000人未満の企業

11,478社^{*4}

WordPressの
国内CMS
シェアが
83.1%(*1)

IT外製
35.4%*3

IT内製
54.4%*3

Web

上場企業の
WordPress利用数
2022年～2023年
の1年間で
約千サイト増加
(*2)

安全と手離れの良さ

表示速度の超高速化

超高速化 & 高セキュリティ

KUSANAGI
マネージド
サービス

WEXAL

KUSANAGI有償版ライセンス

- KUSANAGI Business Edition (ビジネス用途)
- KUSANAGI Premium Edition (+フロントエンド最適化)
- KUSANAGI Security Edition (セキュリティ強化)

*1 https://w3techs.com/technologies/segmentation/d-jp-/content_management

*2 (引用)「上場企業CMS調査レポート」(2023年8月度及び2022年8月度(株式会社DataSign))

*3 <https://www.imagazine.co.jp/gartner-j-soft-dev-in-house2023/>

*4 【令和3年版】国内に法人企業は何社あるでしょう? | NPS ネットビジネスサポート株式会社 (net.biz.jp)

1. 会社紹介

2. 当社のビジネス

3. 当社の競争力

4. 当社のAIビジネスについて

マネージドサービスと
有償版ライセンスの国内潜在市場

「KUSANAGI Stack」

すべての過程で高速化する市場唯一の製品群



超高速CMS実行環境「KUSANAGI」
高速化エンジン「WEXAL Page Speed Technology」
戦略AI「ONIMARU David」

サーバーとブラウザの両方を高速化
通常は部分的な高速化が多いです。

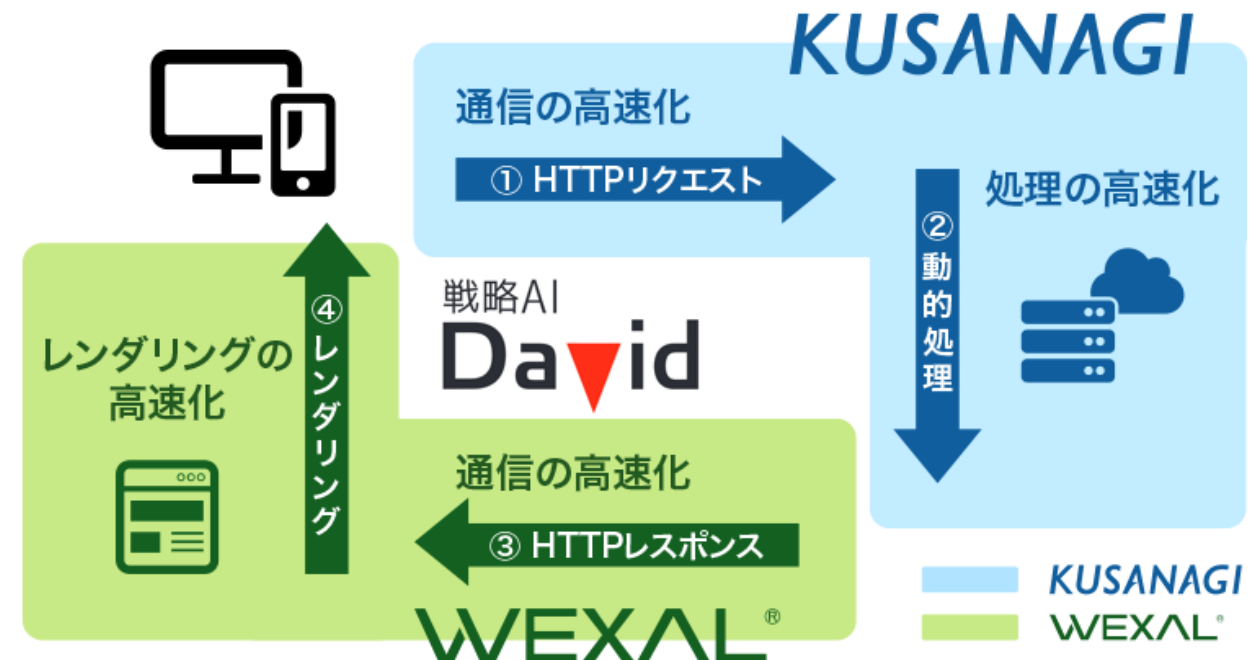


日本国特許第7523733号
日本国特許第7530383号
* その他関連特許出願中

28プラットフォームで展開 ※1
累計稼働台数9万台 ※2

SPEED & SECURITY & COST

画面表示するまでのすべての過程を高速にチューニング



※1：2024年9月現在

※2：2024年7月現在



WordPress等のCMSやWebシステムを
高速かつ安全に動作させるための
OS(オペレーティングシステム)

28プラットフォーム
37カ国203リージョンで展開^{※1}
累計稼働台数9万台^{※2}



※1: 2024年9月現在
※2: 2024年9月現在

フリーミアムモデル

製品を無償提供することでプロダクトの認知度を
向上させ、運用保守サービスやライセンス販売等の
有償サービスへ繋げる戦略

無償版



有償版



KUSANAGI
マネージドサービス

ここまで普及しているWordPress/CMS向けに
チューニングしたOSは他にはありません。

世界最高速クラスの「KUSANAGI」

WordPress/CMSに特化した
超高速チューニングと
セキュリティ強化のチューニングを
以下の組み合わせで行っているOSが
「KUSANAGI」です。

プラグインで高速化する
製品もあるが限定的

CMS実行環境イメージ

アプリケーション



プログラム



サービス

オペレーティングシステム



実行環境

データベース

KUSANAGI

Powered by Prime Strategy

キャッシュ
サーバ

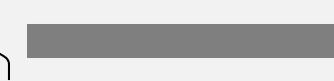


キャッシュサーバ(CDN)の
利用で高速化もできるが
限定的な高速化

KUSANAGI
は、すべての
レイヤーを
高速化する

1秒あたりの処理可能リクエスト数

一般的な環境



KUSANAGI ECサイトや会員サイト等（キャッシュ非使用）

速い



KUSANAGIメディアサイトなど一般的なページ（キャッシュ利用）

速い！！



16,046

相当速いです

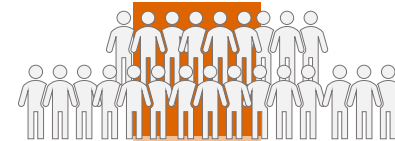
260倍



61

1.8倍

105



KUSANAGI

Powered by Prime Strategy

一般的な環境

「KUSANAGI」
キャッシュ非使用

「KUSANAGI」
キャッシュ使用

AlmaLinux ※環境 1

KUSANAGI 9 ※環境 2 20



AIが最適化



「**WEXAL Page Speed Technology**」は、Webシステムのための「高速化エンジン」。
ブラウザ表示の自動チューニングを実施し、UX（ユーザー体験）の向上を実現します。

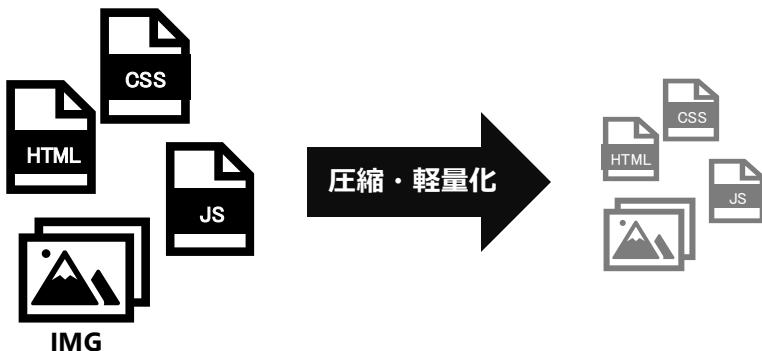
コスト削減

メリット

2

リソース最適化による高速化と転送量の削減

画像やJS、CSSのリソースを圧縮し、軽量化する。リソースの最適化により、表示の高速化だけではなく転送量を削減します。



メリット

1

戦略AI Davidによる最適化戦略の自動生成

戦略AI Davidがエンジニアに代わってブラウザの環境に合わせてページごとに最適化戦略を自動生成



戦略AI David
自動最適化

エンジニアが最適化に
悩む必要はない



メリット

3

オリジナルデータの改変なし

オリジナルのリソースやプログラム、データベースに保存されているデータなどの改変は行わない。

手軽に導入



元システムの
変更不要
(導入しやすい)

KUSANAGIマネージドサービスの競争力

KUSANAGIマネージドサービスとは企業向けWordPressサイトおよびサーバの運用管理まで行うマネージド型のサポートサービスです。マーケティング、Web担当者の方が本来の業務としているコンテンツ作成等に集中できる環境を提供します。



一般的には他社が開発したWebサーバーを引き継いで保守をしません。
多くは、サーバ、ミドルウェアからアプリケーションまでの一貫した保守ができていません。

当社の業績変動の予兆について



- Webセキュリティインシデントの大型ニュース
- 当社Webサイトのトップページの更新数
 - セミナー
 - 報道発表
 - 事例公開
- 社員数

ニュース		
IRニュース		
2024年12月19日	ニュース	年末年始休業のご案内
2024年12月2日	ニュース	国内ウェブセキュリティ大家である徳丸浩氏がウェブセキュリティ顧問に就任
2024年11月18日	イベント・セミナー	徳丸浩氏講演決定）Web改ざん匿名事例解説と効果的で安全なWebサイトの運営を解説するセミナー
2024年11月17日	ニュース	【課題解決ページ】WordPress/CMSのセキュリティはどこまで行えばよいですか？
2024年11月8日	イベント・セミナー	最新セキュリティの全貌と具体策と改ざん事例を解説するセミナー
2024年11月1日	イベント・セミナー	MTDDC MeetUp TOKYO2024登壇決定「私達はみた！Webサイトに潜むヒヤリハット&アップデートはセキュリティ対策の大事な第1歩」とオリジナルTシャツ抽選会
2024年11月1日	イベント・セミナー	Web担当者Forumミーティング2024秋に登壇決定！「Web改ざん匿名事例解説、セキュリティはどこまで行えば十分なのか」
2024年10月31日	ニュース	IDCFクラウドで「KUSANAGI 9 for IDCFクラウド（AlmaLinux OS 9対応版）」の提供開始
■ お知らせ一覧		

コラム更新情報

技術コラム - KUSANAGI Tech Column	マーケティングコラム - Marketing Column
PHPの最新状況：PHP 8.4ついにリリース（第40回） 2024年12月19日	徳丸先生をお招きしてセミナーしました）Web改ざん匿名事例解説と効果的で安全なWebサイトの運営を解説するセミナー 【動画公開中】 2024年12月25日
Llama.cppを使ったローカルLLM環境構築紹介 2024年10月21日	皆さまのKUSANAGI関連のブログをご紹介「ConoHa VPS でのkusanagi環境の「All-in-One WP Migration」のあれこれ」他2本 2024年12月19日
KUSANAGI Runs on Docker で、MySQLを使用してみる 2024年10月11日	bcache用テーブルの別データベース化について（KUSANAGIユーザーフォーラムより） 2024年12月19日

運営サイト更新情報

KUSANAGI 更新情報	AI・人工知能開発サービス
KUSANAGI Business Edition モジュール更新情報 2025年1月6日	【4/18 当社開催セミナー】安全に自社専用生成AIを導入するコツと注意事項を解説するセミナー 2024年4月23日
WEXAL® Page Speed Technology 3.1モジュール更新情報 2025年1月6日	ニフクラエンジニアミートアップ）当社并元の登壇動画が公開されています。 2024年4月23日
WEXAL® Page Speed Technology 3.1モジュール更新情報 2025年1月6日	SAPの自動化を考える（準備編） ハイパーオートメーションを支える技術 2022年6月7日
【注意喚起】WordPress 6.6 および 6.7 (それぞれのマイナーバージョンを含む) をKUSANAGIでお使いのお客様への影響について 2024年12月24日	
KUSANAGI 9モジュール更新情報 2024年12月23日	

1. 会社紹介

2. 当社のビジネス

3. 当社の競争力

4. 当社のAIビジネス

超軽量完全ローカル協調動作LLM Magatama.AI

完全ローカル環境 機密文書も安全に扱える

APIを利用してOpenAI(ChatGPT)などの外部サービスを利用しないため、セキュリティは非常に高い上に、ローカル環境なのでAPI利用料がかからず利用し放題である。

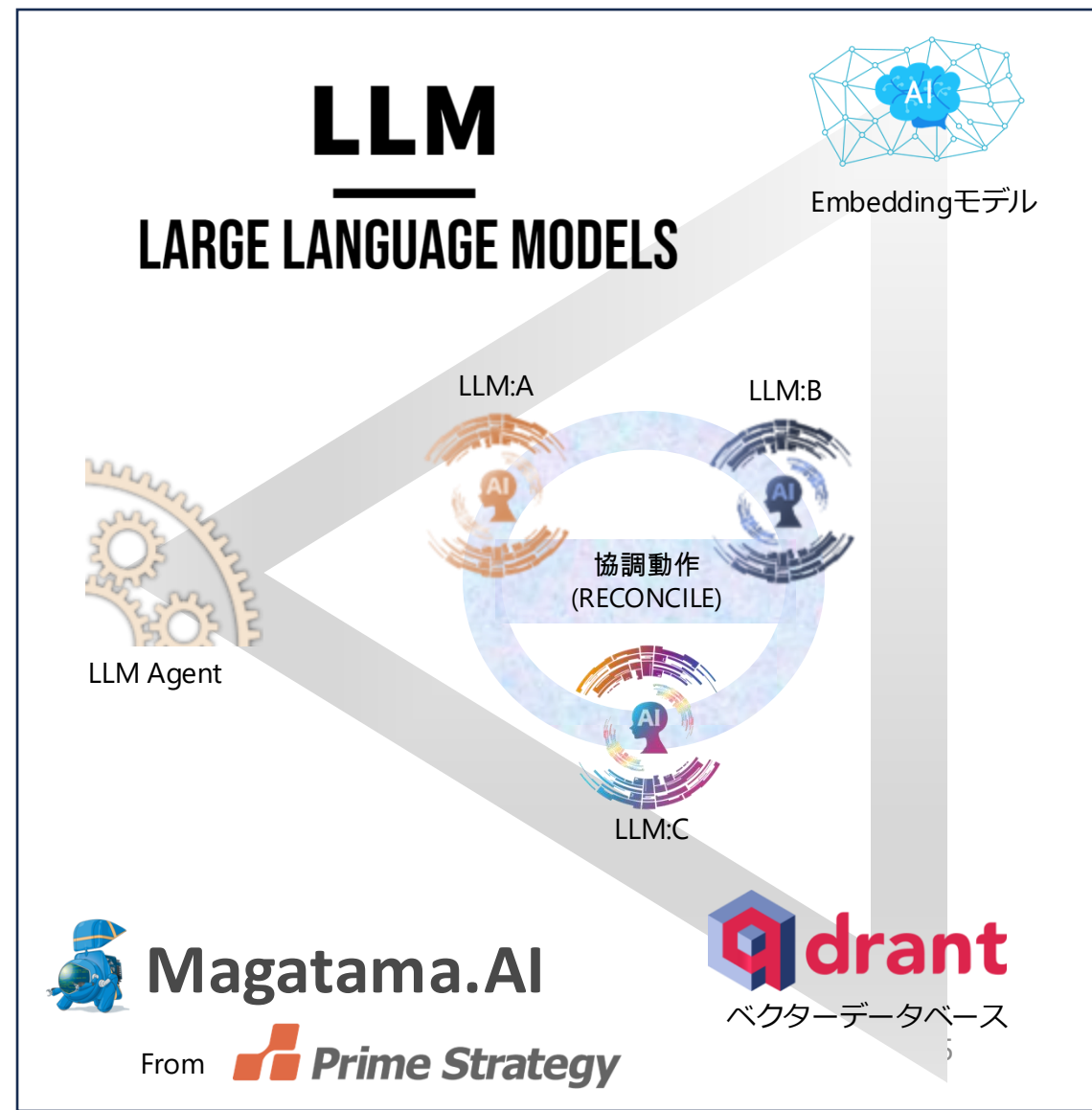
システム全体を軽量化し高速動作が可能

量子化・バイナリー化技術を用いて、各LLMを軽量化し、高速・並列動作できる環境にしている。

必要リソースが軽量

NVIDIAのGPUかAMDのGPU、もしくはM2かM3のMacアーキテクチャで、オンボードメモリかユニファイドメモリが16GB以上であれば動作可能である。

(さくらインターネット/AWS/Azure/OracleなどクラウドGPUサーバーも利用可能)



- LLMはLarge Language Modelsの略で、日本語に直すと、大規模言語モデルとなります。
- LLMは生成AIの一種です。生成AIはテキスト文章、画像、音声などのデータを自律的に生成できるAI技術の“総称”です。LLMはテキスト文章を読んだり生成したりする能力に特化した生成AIです。

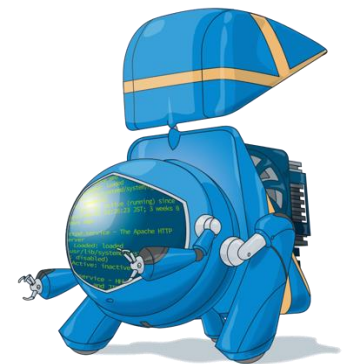
- Magatama.AIをベースにした、レガシーシステムのソースコードとドキュメント管理を効率化する「2025年の崖」対策ソリューション

※レガシーシステムとは、過去の技術や仕組みで構築されたシステムです。

- 2025年の崖と表現される多くの企業で使用されているレガシーシステムが複雑化・老朽化・ブラックボックス化され、企業内のDX推進やデータ活用の障壁になっています。そこでプライム・ストラテジーはこの問題を解決するべく、レガシーシステムのソースコードとドキュメント管理を効率化するLLMソリューションを発表します。
- 「2025年の崖」とは、日本企業の既存レガシーシステムが老朽化・ブラックボックス化・複雑化しており、DXが推進されなければ2025年以降に最大12兆円/年の経済損失が生じると予想されている問題です
 - 2025年から2030年の期間においてレガシーシステムの担当エンジニアの person 費が2017年と比較して2倍になると予想されています
 - 引用元：https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/digital_transformation/pdf/20180907_01.pdf



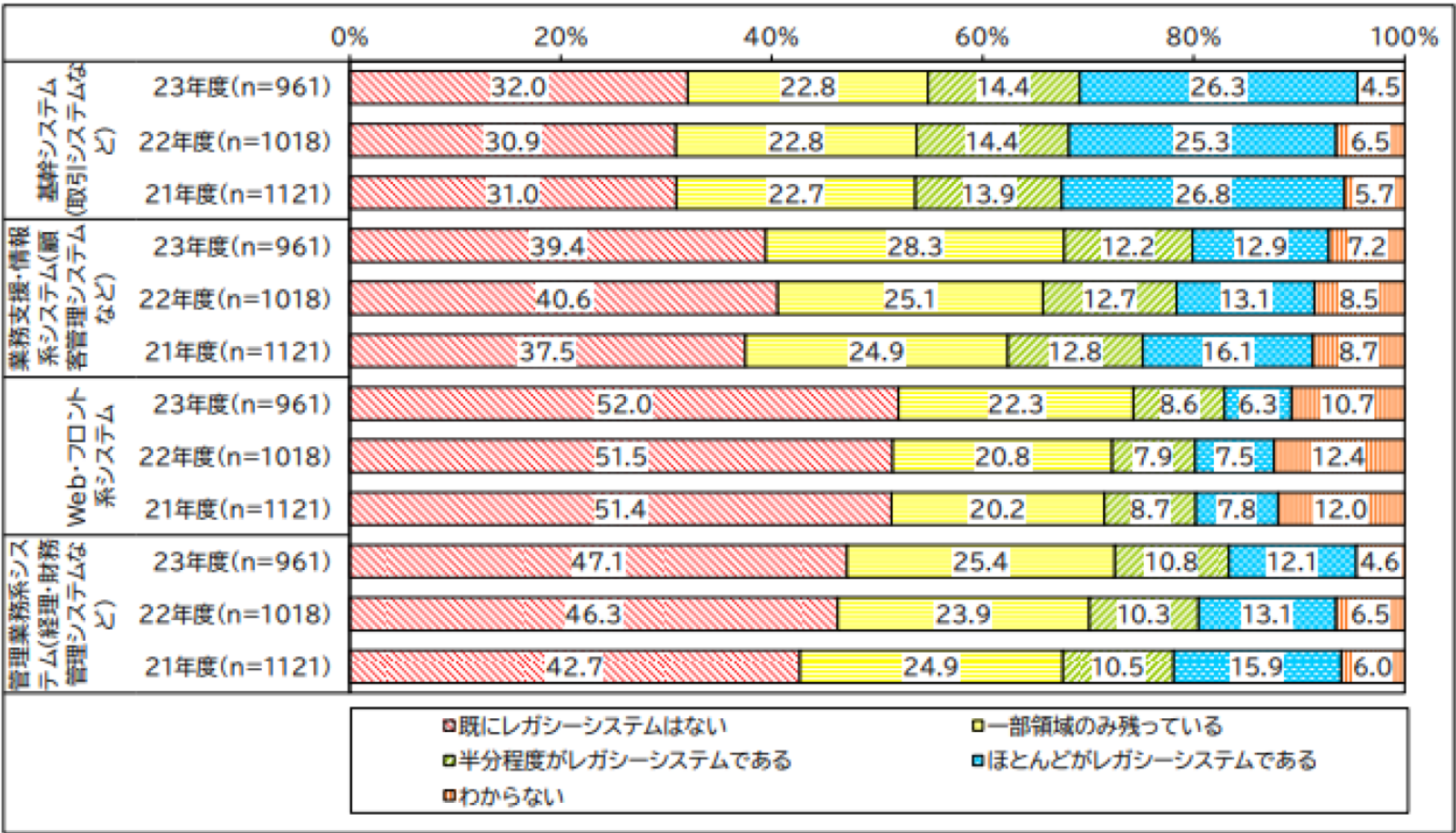
- 本ソリューションはソースコードや仕様書をLLMで解析するため、非常に高い機密性が求められます。
そこで、ベースソリューションとして超軽量完全ローカル協調動作LLM「Magatama.AI」をベースに開発することに致しました。
- 採用想定メリットは以下の通りです。
 - レガシーシステムの保守コストを軽減します。
 - レガシーシステムの保守対応作業が効率化します。
- 主な機能は以下の通りです。
 - ソースコード管理
 - 仕様書管理
 - リスク管理
 - ソースコードチェック
 - アラート機能



- 「2025年の崖」問題の経済損失は12兆円/年ではありますが、この12兆円が本ソリューションのビジネス規模ではありません。
- 本ソリューションの採用効果はレガシーシステムを所有する大手企業や、保守を担当しているインテグレーターの保守コストを大幅に軽減できることです。 現存しているレガシーシステムの台数×販売金額がビジネス規模の最大値になります。

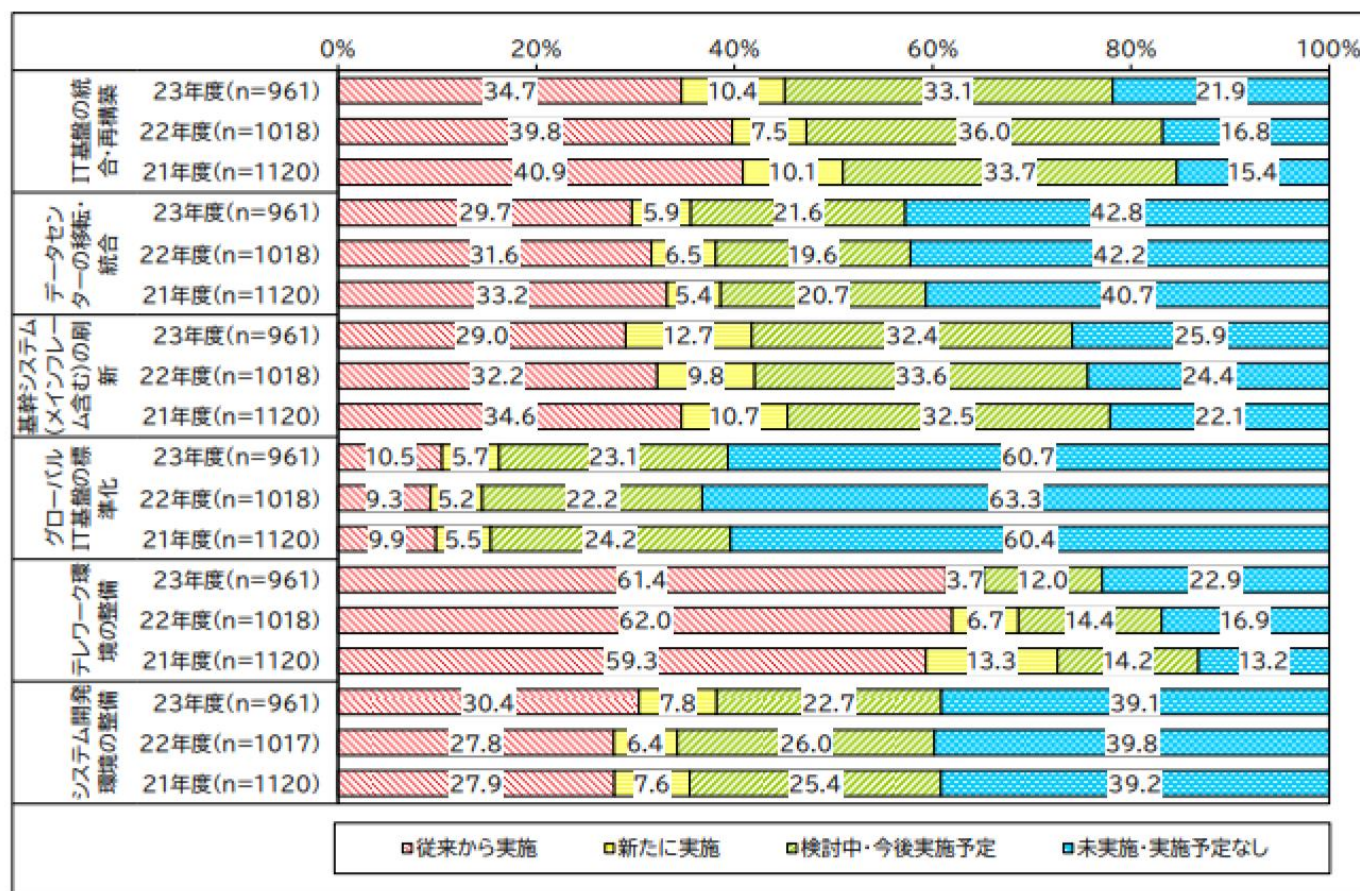
レガシーシステムが残っている企業が63.5%

基幹システムに関してはレガシーシステムの存在割合は、3年間でほとんど変化がみられない



※企業IT動向調査報告書2024「図表8-3-1 レガシーシステムの対応状況」(一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS) 調査)
調査対象：東証上場企業とそれに準じる企業の計 4500 社 回答数976社

この3年間でレガシーシステムに対する対応について「未実施・対応予定なし」の割合が増加傾向である

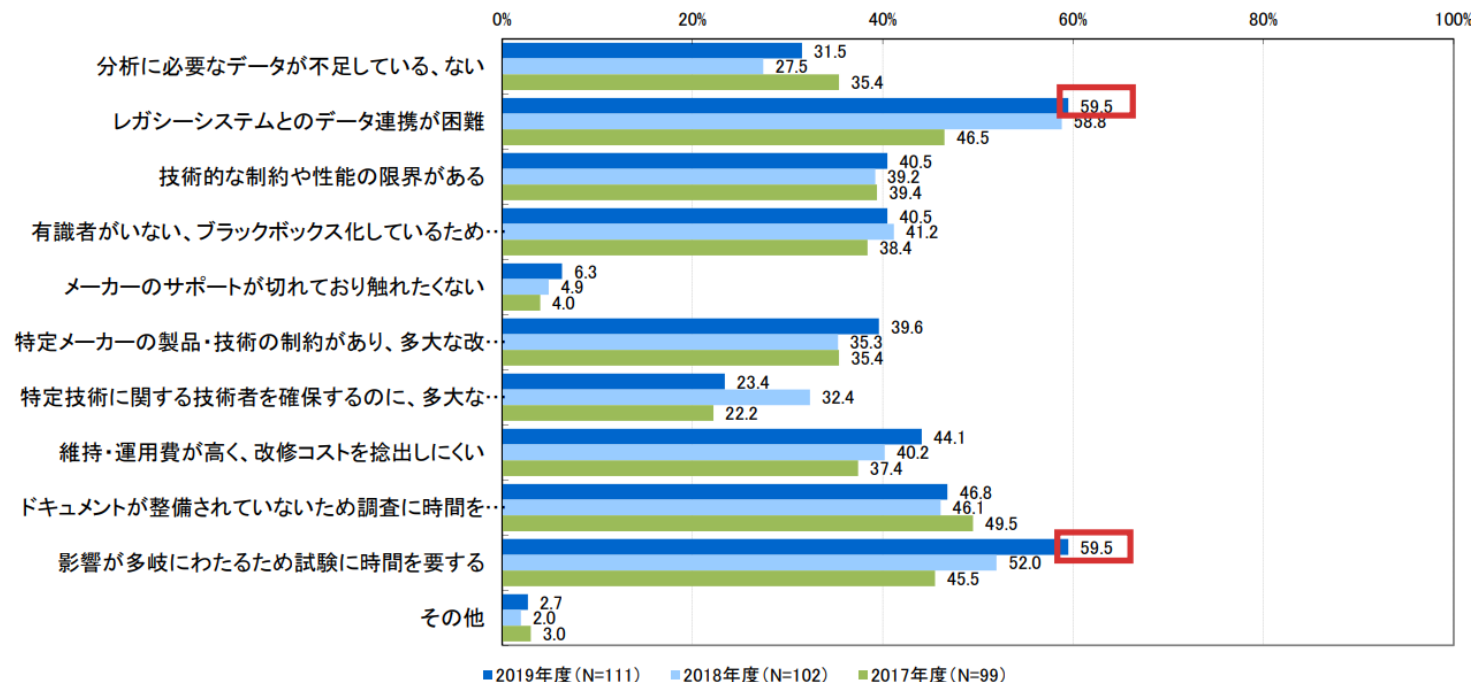


※企業IT動向調査報告書2024「図表8-3-4 基盤改革の取り組み状況」(一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS) 調査)
 調査対象: 東証上場企業とそれに準じる企業の計 4500 社 回答数976社

https://juas.or.jp/cms/media/2024/04/JUAS_IT2024.pdf

レガシーシステムがDX推進の足かせになっている理由、有識者がいない40.5%、運用コストが高く改修費を捻出できない44.1%、調査に時間がかかる46.8%、改修のための試験に時間がかかる59.5%

Q25S2: 足かせになっていると感じる理由をご選択ください。(複数選択可)(N=111)



- 本日は本ソリューションの開発着手の発表になります。
 - 現在の開発段階はまだ基礎段階です。
 - 本ソリューションの完成時期はまだ公開できる段階ではありませんが、FY2026以降になります。
 - 他の大手企業による同分野の開発開始の発表がございます。
 - かなり難易度が高い開発を進めています。
-
- 今後の展開については決算説明会でご報告してまいります。

お知らせ（近日提供開始）

KUSANAGI Security Edition



セキュリティ対策を強化 OS・ミドルウェアの自動アップデートを段階的に実現



OS・ミドルウェアの
自動アップデート



マルチクラウド・マルチOSの
セキュリティ基準



実用的なレポーティング



既存の運用フローとの
インテグレーション

自動バージョンアップのすごさ

- ソフトウェアのバージョンアップは市場で注目を集めているセキュリティ対策の基本中の基本です。特に近年、需要が高まっています。
- 企業では複数のWebサーバーを所有しており、その中身は複数のソフトウェアの組み合わせで稼働しており、多くはWebサーバーごとに構成が違ってきます。それゆえに、バージョンアップの作業がものすごく負担であり、それなりのコストがかかっています。また、バージョンアップを放置してハッキングされるケースが多いです。
- WebサーバーのOSとミドルウェアを自動でバージョンアップし、万が一の時は元に戻せるように研究開発中です。



この技術はとても
難易度が高い技術です。

Webサーバーを所有する
企業の運用負担が大幅に
軽減され、セキュリティが
向上します。

- 本資料は、当社及びその子会社の関連情報の開示のみを目的として作成したものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券の勧誘を構成するものではありません。
- 本資料には、将来予想に関する記述を構成する記載（推定値、予想値、目標値及び計画値を含みます。）が含まれる場合があります。当該将来予想に関する記述は、将来の業績について当社の経営陣が保証していることを示すものではありません。当社は、将来予想に関する記述を特定するために、「目指す」、「予測する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」等の用語及びこれらに類似する表現を使用する場合があります。本資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている 将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。
- 上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限られるものではありません。
- 本資料は、本資料の日付現在において有効な経済、規制、市場及びその他の条件に基づいており、当社又は当社の代表者のいずれも、本資料の情報が正確又は完全であることを保証するものではありません。今後の動向が本資料に含まれる情報に影響を与える可能性があります。当社又は 当社の代表者のいずれも、本資料に含まれる情報を更新、改訂又は確認する義務を負いません。本資料に含まれる情報は、事前に通知することなく変更されることがあり、当該情報の変更が重大なものとなる可能性もあります。本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、公開又は利用することはできません。
- また、当社以外の事項・組織に関する情報が含まれる場合があります。当該情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのよう な一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。
- 本資料に記載しておりますKUSANAGIや他のOSの性能評価で利用した具体的環境は以下のとおりです。

（環境 1） AlmaLinux 8.9

Microsoft Azure Standard D4as_v5インスタンス (3.24Ghz AMD EPYC 7763 プロセッサ 4 vCPU, 16GiB), Premium SSD LRS, 東日本リージョン, PHP 8.0.30, Nginx 1.20.1, MariaDB 10.5.22, WordPress 6.4.2

（環境 2） KUSANAGI 9.4.8-1

Microsoft Azure Standard D4as_v5インスタンス (3.24Ghz AMD EPYC 7763 プロセッサ 4 vCPU, 16GiB), Premium SSD LRS, 東日本リージョン, PHP 8.0.30, Nginx 1.25.3, MariaDB 10.5.23, WordPress 6.4.2



KUSANAGI